

## 第6次玉川村振興計画後期計画・玉川村国土強靱化地域計画策定支援業務プロポーザル審査結果

標記の件について、審査及び評価を実施した結果、最も優れた企画提案を選定しましたので、その結果を公表します。

### ●プロポーザルの事業名

第6次玉川村振興計画後期計画・玉川村国土強靱化地域計画策定支援業務

### ●プロポーザルの方法

公募型プロポーザル方式（新型コロナウイルス感染拡大防止対策により書面にて開催）

### ●業務内容

#### **振興計画（後期基本計画）策定の業務内容**

##### （1）基本計画における施策及び事業体系の再構築

基本構想における政策の目標を踏まえ、基本計画ではその実現に向けた手段である主要施策・主要事業を提案し、施策・事業体系の再構築を行い、評価のしやすい計画構造を提案するものとする。

##### （2）基本計画（施策マネジメントシート）調査の実施

職員参画の一環として、策定した基本構想の施策体系に基づき、基本計画に掲げるべき施策・事業や成果指標を把握するために、関係各課対象の調査による分析を実施する。シートの設定については、現段階で使用している本村のシートをもとに、基本計画の体系・内容に応じた設定事例等の資料を作成・提供するなど、負担軽減かつ効率的に設定できるようにする。

##### （3）庁内関連部署ヒアリング調査

庁内関連部署担当者へのヒアリング調査による施策・事業や成果指標の把握分析を行う。また各課調査により、基本計画・実施計画のリンク・関連性の確保と、実際の事業想定や財政的な裏付けに基づく基本計画立案のための調査を行う。

###### ①施策マネジメントシート原票の作成

###### ②設定事例等の資料作成

###### ③庁内関連部署担当者へのヒアリング調査

- ・回収された各課調査シートの一覧化、取りまとめ
- ・面談による聞き取り

##### （4）重点プロジェクトの素案・最終案の作成

時代潮流や総合戦略など、本村の現況を踏まえ、施策の優先性・重点性・実行性を重視した戦略型の重点プロジェクトを提案するものとする。

(5) 基本計画検討原案・中間案及び最終案の作成

上記のすべての調査・分析結果を総合的に勘案し、基本計画検討原案を策定し、基本計画のたたき台として提案するものとする。

(6) パブリックコメントの実施支援

村民参画の一環として、第6次玉川村振興計画（後期基本計画）の庁内案がほぼ確定した段階で、期間をとりホームページを活用したパブリックコメントの実施支援をするものとする。

(7) 計画策定組織の運営に対する支援

「第6次玉川村振興計画（後期基本計画）」策定にあたり、受託者は会議資料の作成を行うとともに、県内や他都道府県における本村類似団体での運営状況等をふまえた助言を行うこととする。

(8) 成果品

- ①基本計画施策マネジメントシート案
- ②基本計画施策マネジメントシート調査結果
- ③重点プロジェクトの素案及び最終案
- ④基本計画中間案・素案・最終案
- ⑤会議支援資料

上記電子データ一式及び紙出力 各2部

## **国土強靱化地域計画策定の業務内容**

(1) 基礎資料の収集・整理

本村で想定されている災害等の状況を踏まえ、大規模自然災害等に係る現状と対応施策・事業を把握するためのデータを収集・整理する。

(2) 地域を強靱化する上での目標設定

本村における強靱化を推進する上での目標を設定する。目標は、原則として、基本計画における「基本目標」及び「事前に備えるべき目標」に即し、本村の実情、自然・社会状況や災害の切迫性等に応じて必要な目標を設定する。

(3) リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）と強靱化施策分野の設定

本村の地域状況等を踏まえつつ、リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）を設定するとともに、最悪の事態を回避すべく、施策分野を設定する。

①自然災害の想定

自然災害の想定としては、本村に最も影響を及ぼすと思われる大規模自然災害全般を対象とする。

②リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）の設定

基本計画の45の「起きてはならない最悪の事態」を参考にしつつ、維持・早期回復が必要な重要機能を念頭に置きながら、上記(1)で想定したリスク（自然災害）及

び地理的・地形的特性、気候的特性、社会経済的特性等の地域の特性を踏まえて、本村における「起きてはならない最悪の事態」を設定する。

### ③施策分野の設定

基本計画の施策分野（12の個別施策分野と3の横断的の分野）を参考とし、上記②で設定したリスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）を回避するために必要な施策を念頭に置きつつ、本村の状況に応じて施策分野を設定する。

### （4）脆弱性の分析・評価（プログラムごとの脆弱性の評価）、課題の検討

各プログラム（「起きてはならない最悪の事態」を回避するための様々な施策群）及び施策分野について、必要となる国土強靱化施策を検討するため、上記（2）「地域を強靱化する上での目標設定」、上記（3）「リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）と強靱化施策分野の設定」に基づき、脆弱性の分析・評価を行う。

当該分析・評価に係る一覧性、効率性を確保する観点から、リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）と強靱化施策分野の個別施策分野を軸としたマトリクスによる分析・評価を作成し、プログラムごとの脆弱性の評価結果を取りまとめる。なお、評価に当たっては、以下で作成する「各プログラム推進方針（案）」に記載するKPI（重要業績指標）の現状値を参考にする。

### （5）リスクへの対応方策（各プログラム推進方針（案））の検討

上記（4）の脆弱性の評価結果に基づき、各プログラム及び施策分野について今後必要となる施策を検討し、推進方針として整理する。

各プログラム及び施策分野について今後必要となる施策を検討するに当たっては、上記（3）で設定した各リスクシナリオ（起きてはならない最悪の事態）が発生する要因を想定した上で、各要因を取り除くための施策を検討する。

### （6）各プログラム推進方針（案）について重点化、優先順位付け

上記2で設定した目標ごとに、各プログラム推進方針（案）を作成するとともに、本村が直面するリスクを踏まえて、事態が回避されなかった場合の影響の大きさ又は重要性、緊急度等を考慮して、施策の重点化・優先順位付けを行う。なお、個別の施策又は事業について重点化・優先順位付けを行うに当たっては、影響の大きさ又は重要性、緊急度等を考慮する。

### （7）重要業績指標（KPI）の設定

各プログラムの達成度や進捗状況を可能な限り定量的に把握できるよう、プログラムごとに重要業績指標（KPI）を設定する。

### （8）パブリックコメント実施への支援

計画素案について本村が行うパブリックコメントの実施を支援し、事務局と協議の上結果を素案に反映させる修正を行う。

### （9）計画素案の作成及び補正作業

上記業務結果をもとに、玉川村国土強靱化地域計画素案及び計画案を作成する。

(10) 検討会議への運営支援

策定委員会等の検討会議（3回程度を想定）において円滑な会議運営を行うため、資料作成等の支援を行う。なお、会議へは必要に応じオブザーバーとして出席する。

(11) 成果品

本業務の成果品は次のとおりとする。

- ①国土強靱化施策シート
- ②国土強靱化地域計画骨子案
- ③国土強靱化地域計画素案及び最終案

上記電子データ一式及び紙出力 各2部

●プロポーザルの実施日程

内 容	日 程
募集開始	令和2年3月25日（水）
参加申込書等の提出〆切	令和2年4月8日（水）
質問の受付〆切	令和2年4月13日（月）
企画提案書等の提出〆切	令和2年4月15日（水）
プレゼンテーション及びヒアリング審査	令和2年4月20日（月）から24日（金）の間
選考結果の通知・公表	令和2年4月27日（月）以降

●審査項目及び配点

審査委員 10名、一人当たり 100点、合計 1000満点

- 1. 業務の理解度（目的趣旨を踏まえた提案 10点）
- 2. 実施体制（業務実施体制 10点）
- 3. 企画提案書の内容（振興計画後期計画策定支援業務 20点）  
（国土強靱化地域計画策定支援業務 20点）  
（地域理解・具体性等 20点）
- 4. スケジュール（業務計画の的確性 10点）
- 5. 見積額（適正な価格での見積 10点）

●審査結果

業務受託候補者： 株式会社ぎょうせい東北支社

●業務受託候補者選定理由

当村の特徴や課題を踏まえ、地域性等について充分整理された企画提案内容であり、第6次玉川村振興計画後期計画・玉川村国土強靱化地域計画策定支援業務に向け必要な準備が整っていた。

●順位等

順位	提案事業者名	得点（1000点満点） ※10名の審査員の合計
1	株式会社ぎょうせい東北支社	810
2	A 事業者	724
3	B 事業者	698

●お問い合わせ

玉川村総務課企画係 TEL0247-57-4621